

**文部科学大臣杯争奪
第52回全国身体障害者アーチェリー選手権大会 開催要項
(フェニックス大阪大会)**

- 1 主催 (一社) 日本身体障害者アーチェリー連盟
- 2 共催 公益財団法人フィットネス 21 事業団
大阪府立障がい者交流促進センター (ファインプラザ大阪)
- 3 後援 スポーツ庁、大阪府アーチェリー連盟
(予定) (社福) 大阪市障がい者スポーツ振興協会・大阪府障がい者スポーツ協会
- 4 主管 大阪市アーチェリー協会
- 5 協賛 大塚製薬、近畿身体障害者アーチェリー連盟
- 6 協力 渋谷アーチェリー (株)、(株) アイコーポレーション
- 7 日時 令和5年11月4(土)・5日(日)
- 8 会場 大阪府立障がい者交流促進センター (ファインプラザ大阪)
〒590-0137 大阪府堺市南區城山台5丁1番2号 TEL:072-296-6311
- 9 競技種目

リカーブ部門	・男子・女子	70mラウンド
コンパウンド部門	・男子・女子	50mラウンド
W1 オープン部門	・男女混合	50mラウンド
団体戦	・リカーブ・コンパウンド混合とし、各都道府県それぞれの記録における上位3名の合計点による。	
- 10 競技規則 全日本アーチェリー連盟競技規則 (2022-2023 年)、および本大会申し合わせ事項による。
- 11 参加資格 (1) 令和5年度日本身体障害者アーチェリー連盟および令和5年度 (公社) 全日本アーチェリー連盟に競技者登録済みの者。
(2) 令和4年9月26日から令和5年9月3日までに、(公社) 全日本アーチェリー連盟公認大会において、下記の記録を収めた者および主催者が認めた者。

種	別	得点
リカーブ部門	70mR	500点
コンパウンド部門	50mR	550点
W1 オープン部門	50mR	500点

※最大60名で、これを超える申し込みがあった場合は申請得点の上位者より選考する。

- 1 2 表 彰(1)各部門男女別種目別の優勝者に文部科学大臣杯及びフェニックス杯（持ち回り）を授与する。ただし、W1 オープン部門については男女の区分なく優勝者に文部科学大臣杯及びフェニックス杯（持ち回り）を授与する。
(2)各部門男女別種目別に第1位～第3位まで表彰し、記念品を授与する。
※ただし、参加人数により変更する場合がある。
(3)団体戦で優勝したチームには、日本身体障害者アーチェリー連盟会長杯（持ち回り）を授与する。
※チーム構成はリカーブ・コンパウンド混合とする。なおコンパウンドの点数は95%で換算する。ただし、3チーム以上の参加がない場合は団体戦は行わない。
(4)授与された優勝杯（持ち回り杯）は、各自持ち帰り次回まで各自で保管すること（郵送を希望する場合は着払いで対応する）
- 1 3 申込方法 別紙参加申込書兼看的委任状に必要事項を記入の上、令和5年9月7日（木）（必着）までに、下記宛にメールで申し込むこと。
申し込みはメールのみで受付、FAX・電話・口頭による申込は不可。
参加希望者が定員を超えた場合は、各部門種別において得点上位者から主催者が選考する。選考された選手には、「参加決定通知書」を送付する。参加決定通知書到着後2週間以内入金すること。（入金が確認されない場合は棄権とみなす。）
- 1 4 申込先 近畿身体障害者アーチェリー連盟 淵上朋伸
Email : fcgmtomo@gmail.com
(cc,kimiekokoro4@gmail.com)
申込時の件名を「第52回フェニックス申込」とすること。
- 1 5 参加費 一人 4,500円
- 1 6 振込先 りそな銀行 赤坂支店 普通 1942844
名義：日本身体障害者アーチェリー連盟
※振込名義は、選手本人名または団体名でお願いします。
- 1 7 宿 泊 宿泊についての斡旋はしない。各自で手配すること。
- 1 8 傷害保険の加入について
主催者において、傷害保険に一括加入する。大会では応急処置しかできないので、参加にあたっては、自己の責任において健康と安全に十分留意すること。
- 1 9 個人情報の取扱いについて
主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、その他競技運営およびアーチェリー競技に必要な連絡等のみに利用する。

- 20 その他
- (1) 本大会は、(公社)全日本アーチェリー連盟の公認大会として行う。
 - (2) 本大会は、国際大会への参加候補選手選考の対象大会とする。
 - (3) 矢取り、看的については、得点記録員が代行するので、参加申込書兼看的委任状に各自署名捺印して申し込むこと。
 - (4) 荒天時の競技中止については、大会当日の午前7時までに決定する。
緊急連絡先：090-5666-2422 担当:岡野
 - (5) 大会期間中撮影した画像・映像は、日本身体障害者アーチェリー連盟の競技普及に関する広報に使用する。
 - (6) 昼食(お弁当・お茶付き)1個700円で斡旋します。(希望者は申込書に記載のこと)

【競技日程】 (状況により変更の場合あり)

11月4日(土) 13:00 ~ 16:00 公開練習・用具検査※

11月5日(日)

8:45 ~ 10:00 受付・開会式・用具検査※

10:00 ~ 12:00 前半競技 36射

12:00 ~ 12:45 休憩 昼食

12:45 ~ 14:00 後半競技 36射

14:00 ~ 異議申し立て・表彰式・閉会式

※用具検査時、日本身体障害者アーチェリー連盟の会員証および全日本アーチェリー連盟の会員証を同時に提示をすること。

※クラス分けカード(A4サイズ)を所持している選手は、用具検査時に必ず提示すること。

※公開練習時に用具検査を受けた場合は、翌日は省略する。なお公開練習への参加は必須ではない。

【競技方法および注意事項】

- (1) 行射後は、シューティングラインよりウェイトングライン後方に移動するか、審判に終了したことが明確に分かるように、弓を膝の上またはボウスタンドに置くこと。
- (2) 行射終了後は、シューティングライン上でスコープ等での標的を確認しないこと。
行射後に標的を確認する場合は、ウェイトングライン後方から行うか、矢取り、看的の間に確認すること。
- (3) リカーブ部門は、1的1標的面2名、AB—CDの2立で行射すること。(122cm標的の使用)
- (4) コンパウンド部門は、1的4標的面、各1名、AB—CDの2立で行射すること。
(80cm マルチ標的 6リング使用)

- (5) W1 オープン部門は、1 的 1 標的面 1 名で行射すること。
- (6) 競技は、6 射 4 分、AB—CD・CD-AB 行射、矢取りの繰り返しで行う。
- (7) フリープラクティスは、6 射 4 分、AB 行射・矢取、CD 行射・矢取 1 回のみとする。
- (8) 得点記録については、大会運営側競技補助員への委任による相互看的とする。

以上